

おまつり サタタ

2016



vol.163

8



はいっポーズ!

《相内地区・豊田》

矢田目蘭さんあゆとと歩翔くん・みおな滞奈ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

- 平成28年度 おまつり紹介
- 第13回JAきたみらい乳牛共進会
- 夏休み自由研究
ペットボトル顕微鏡を作ろう



季節の薫り



秋まき小麦の収穫

夏らしい蒸し暑い日が続くなか、きたみらい管内の秋まき小麦の収穫が7月31日から始まった。

黄金色に色づいた小麦の穂を大型コンバインが次々と収穫。トラックに積み込み、JA乾燥調製貯蔵施設に運び込まれる。

8月からは春まき小麦、大麦の収穫へと続く。天気予報や空模様には注意を払いながら、収穫作業が急ピッチで進められる。

(高田 陽介)

【JAきたみらい区域の秋まき小麦作付け面積は約4,156㌔。写真は8月1日、上常呂地区・広郷の渡部剛さんのほ場で撮影。上常呂地区では69戸の生産者が約384㌔を栽培しています】

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「スパニッシュオムレット」 「アジの塩焼きポン酢浸し」	○JAからのお知らせ	○ほのぼの広場 ・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・ブリティーウーマン ・わが家のアイドル	○地域だより	○表紙紹介 「みんなに好かれる子に」	○季節の薫り	○平成28年度 おまつり紹介	特集①	○第13回JAきたみらい 乳牛共進会	特集②	○夏休み自由研究 ペットボトル顕微鏡を作ろう	特集③
18	12	10	8	2	2	4	4	5	6	6	6

表紙紹介

みんなに好かれる子に

真夏の日差しが照りつける7月28日、矢田目宅をたずねると、髪形もぼつちりきまっただ歩翔くんが元気よく「こんにちわ！」と飛び出して、迎えてくれました。お兄ちゃんの歩翔くんは人懐っこい性格で人見知りなし。普段は踊ったり、歌ったり、家族を楽しませてくれるひょうきんな一面も。しかし、妹のおむつを持ってきてくれたり、よだれを拭いてあげたりと、優しいお兄ちゃんでもあります。車のおもちゃが好きで、トラクターももちろん大好き。お父さんが仕事をしていると気になって寄ってくるそうです。妹の澤奈ちゃんは、ミルクをとってもよく飲む女の子。普段は音の出るおもちゃやテレビが好きで、特にいろんな音がするプロ野球は食い入るように黙って見ています。取材当日は、まだ生まれて5ヶ月なので話せませんが、会話に入りたいのか一生懸命に声を発していました。そんな二人にご両親は「人にやさしく、みんなに好かれる子に育ててほしい」と話してくれました。

(丸山 恵理)



【ご家族紹介】

前列左から～裕弥さんの弟の瑞輝くん(12)、ひいおばあちゃんの洋子さん(73)、長男の歩翔くん(4)、ひいおじいちゃんの義一さん(73)、お母さんの蘭さん(21)、長女の澤奈ちゃん(5ヶ月)、お父さんの裕弥さん(23)
後列左から～おじいちゃんの孝裕さん(49)、おばあちゃんの朋美さん(47)
矢田目さんはもち米・小麦・てん菜・馬鈴しょを約30㌔を作付しています。

平成28年度 おまつり紹介

きたみらい管内では7月に入り各種の催しが行われました。今回は北見市の「ぼんちまつり」、訓子府町の「ふるさとまつり」を報告します。

JAも174人が踊りに参加 第63回北見ぼんちまつり



▲音楽に合わせて踊り歩き、JAをPRする参加者のみなさん



▲大人とお揃いの子ども用はっぴを着て参加するお子さんたち

第63回北見ぼんちまつり」が7月15日から18日まで北見市内で行われました。初日の「舞踊パレード」には31団体の約2700人が参加し、軽快な「サンバ北見はやし」の音楽に合わせて市街地約1kmを踊り

歩きました。JAきたみらいからも役員や組合員、青年部、女性部、フレッシュミスのみなさん約174人が浴衣やはっぴ姿で参加。威勢の良い掛け声に合わせてながら浴道に集まった方々にJAをPRしました。



▲ワイルド賞を受賞した行灯で来場者へアピールした青年部員のみなさん



▲好評の行灯パレード



▲盛り上がりを見せた牛乳の早飲み

ミニトラクターで青年部をアピール 第37回ふるさとまつり

青年部訓子府支部（藤森秀志支部長は、7月9日と10日の両日、第37回ふるさとまつりを町や他の青年団体と共に開催しました。

前夜祭の行灯（あんどん）パレードではミニトラクターで牽引しながら、迫力のある絵で参加者へJA青年部をアピールしました。

本祭では、牛乳の早飲みと牧草ロールを転がして早さを競う「牛乳ロール」を開催。参加者のみなさんは牛乳をこぼさないよう注意しながらも、豪快に飲み干しました。

第13回JAきたみらい 乳牛共進会

当JAときたみらい酪農振興協議会の共催で7月16日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で乳牛共進会を開催致しました。最高位賞は、未經産の部で訓子府町の渡辺重明さんが出品した「バーチヒル アール D

66頭の乳牛が出品され、体型の美しさや骨格の力強さ、乳房のバランスなどの資質を競い合いました。審査員は（有）十勝ライブストックマネージメント代表取締役吉川要氏が務めました。

会場ではその他にきたみらい牛乳無料配布、子供向けお楽しみコーナーや焼肉広場、抽選会などを開催し、大勢の来場者で賑わいました。



挨拶の機会を述べる西川組合長



審査員を務めた吉川要氏



▲ショウマンショー3年生以下の部に参加したみなさん



▲未經産・経産の部の最高位、準最高位の荣誉に輝いた4頭と関係者のみなさん

【未經産の部】	最高位 「バーチヒル アール D フィーバー」	訓子府 渡辺重明氏 (右2頭目)
	準最高位 「DH チャンス ティー」	北見 山内 誠氏 (右1頭目)
【経産の部】	最高位 「ヨシノファーム ヒカリ チツプスター」	北見 吉野英之氏 (左2頭目)
	準最高位 「ホナミMBB スパークリング マックス」	訓子府 榎龍田牧場 (左1頭目)

観察方法

(6) サンプルを作る

玉ねぎの内側にある薄皮をピンセットではがします。プレパラートと同じ大きさに玉ねぎを切ってから皮をはがした方が載せやすいです。プレパラートの山側にサンプルを載せ、上からセロハンテープでしわにならないように貼り付けます。



(7) 観察しよう! ①

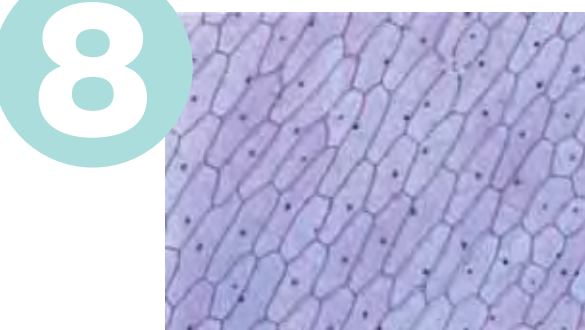
プレパラートをペットボトルの口に付けます。蛍光灯など明るい方向にペットボトル顕微鏡を向けて、ふたをゆっくり閉めていきます。ピン트가合い、細胞や気孔(きこう)が見えてきたら成功です。



※太陽は絶対に見ないこと!!

(8) 観察しよう! ②

100~200倍の倍率で観察できます。
※写真はイメージ。実際の見え方とは異なります。

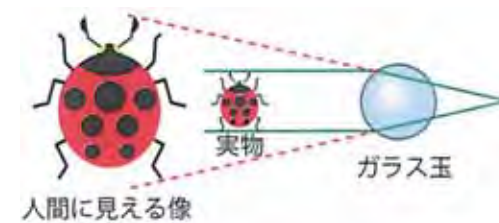


(イメージ画像: 染色した玉ねぎの薄皮)

どうして大きく見えるのか?



ガラス玉は図のように光を集める働きがあります。ガラス玉が虫眼鏡のように凸レンズの役割をしています。人間の目は、光がまっすぐに進むと思っているので、光がレンズで曲がっているとは思わず、図の点線の先から来ていると錯覚してしまうので、物が大きく見えるのです。



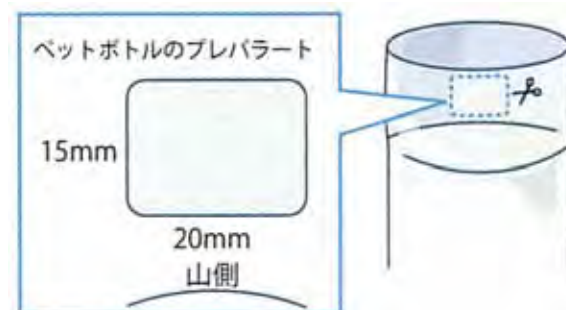
(4) プレパラート台を作る

ペットボトルの口から数cmの所を切ります。これが顕微鏡の台になります。切り口には安全のためセロハンテープを貼っておきましょう。



(5) プレパラートを作る

ペットボトルの残り部分の凹凸のない箇所を、幅15mm×20mm程度切り取ります。角を切り落として、ペットボトルの口径に合うように調整します。これがプレパラートになります。



特集 親子でチャレンジ! 夏の自由研究

ペットボトル顕微鏡を作る

身近にあるペットボトルとガラス玉を使って顕微鏡を作ってみましょう。作り方はとっても簡単です。出来上がったら身の回りのミクロの世界を観察してみよう!

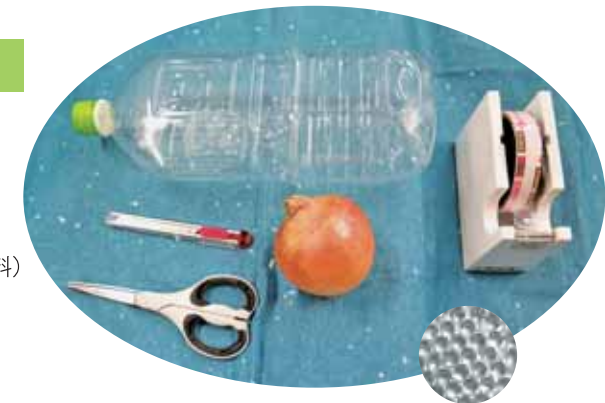
監修: ケニス株式会社「ケニスおもしろ科学実験ホームページ」<http://www.kenis.co.jp/solution/experiment/main.html>



イラスト: ゆき たけし

用意するもの

- ・ペットボトル(色のついていない透明なもの)
- ・ガラス玉(直径2mm程度の透明なもの) ※ケニスオンラインショップ(<http://www.kenis.co.jp/onlineshop/>)でも入手できます(ガラスビーズGB-2 10g)
- ・画びょう(または千枚通し)
- ・カッターナイフ
- ・はさみ
- ・セロハンテープ
- ・ピンセット
- ・玉ねぎ等(観察する試料)

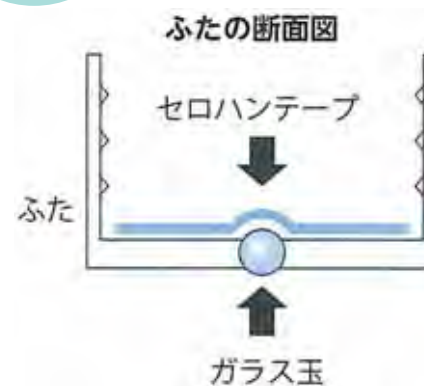


注意!

- ・完成したペットボトル顕微鏡で太陽を直接見てはいけません。失明の危険があります。
- ・千枚通しやカッターナイフを使うときは十分に気を付けて、なるべく大人と一緒に使しましょう。
- ・作り方や観察の方法が分からないときはおうちの人に聞こう。

(3) ガラス玉を入れる

開けた穴の内側からガラス玉を押し込むように入れ、落ちないようにセロハンテープで留めます。ガラス玉がうまくはまり、落ちてこなければセロハンテープで留める必要はありません。あまり深く押し込むとうまく見えませんので、ガラス玉が少し出ている程度で十分です。



作り方

(1) ふたを確認する

内側に凹凸(おうとつ)のあるふたでは作れません。内側が青色(炭酸飲料のものに多い)やパッキングがはずれるものなら作れます。

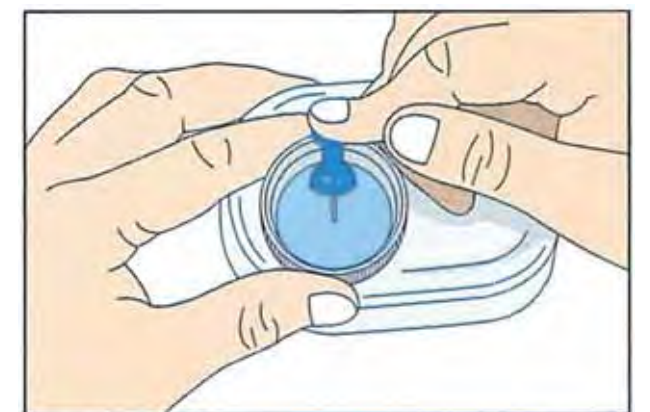


1

(2) ふたに穴を開ける

画びょうまたは千枚通しでふたの中央に内側から穴を開けます。ガラス玉の大きさに合わせ、直径2~2.5mmを目安にします。

2



青年部西支部（橘秀俊支部長）は7月20日に留辺薬小学校4年生を対象とした食育活動を行いました。この活動は毎年行っています。

当日は部員の坂下祐太さんの圃場で実際に馬鈴しょを掘り起こして成長過程を伝えたほか、植え付けから収穫までに使う機械を展示し、説明しました。子どもたちは興味津々に耳を傾け、青年部員にたくさんの質問をしました。

まとめの時間では「おいしく育てるためにはどうするの」等の質問が出され、真剣に話を聞く子どもたちの姿が印象的でした。

（菊池 光祐）



▲掘り起こした馬鈴しょの説明をする橘秀俊支部長

西地域
留辺薬 **おいしく育てるために**
～留辺薬小学校で食育～



▲根切り作業を行う今村圭一さん

東地域
端野 **玉葱の根切り始まる**
～順調に生育進む～

端野地区では、7月17日から玉葱の根切り作業が始まりました。今村幸雄さんのほ場では7月22日から23日にかけて玉葱11.6%のうち、極早生0.8%の根切りを行いました。後継者の圭一さんは今年の天候について「雨も降り、干ばつにならずに生育が進んだ。収量も期待できる」と話しました。

端野地区では組合員113戸が約1,038%の玉葱を作付けしており、収穫は8月上旬から始まる予定です。

（梅澤 大）



地 域 だ よ り



訓子府地区ではスイカの収穫作業が最盛期を迎えています。「きたみらいすいか研究会」の部会長を務める高城茂さんのハウスでは7月26日から小玉スイカ、8月1日から大玉スイカの収穫が始まっています。

交配期・肥大期にあたる6月中旬から7月初旬にかけて天候が不安定で日照時間の不足と低温が続いたものの、糖度は十分でみずみずしいスイカが出来上がりました。

きたみらい産のブランド出荷として小玉スイカには「夢の滴」、大玉スイカには「赤い宝石」と名づけ、食味にこだわった生産を目指しています。

現在、訓子府地区でスイカを作付している農家は6戸で面積が約16%。

エコープでの即売会も大変好評で、高城さんは「消費者の要望に応え作付農家が増えれば嬉しい」と話していました。

（神田 貴章）

南地域
訓子府 **作付拡大を願って**
～スイカの収穫最盛期～



▲一つずつ丁寧に小玉スイカを収穫する高城さん

南地域
置戸 **生乳からチーズづくりに挑戦**
～フレミズ研修会に15人参加～



▲出来映えに満足した様子の会員のみなさん

フレッシュミズ置戸支部（松崎久美支部長）は7月20日、おんねゆ温泉農業交流センター「花えーる」で研修会を行い、15人の会員が参加しました。置戸支部は夏の活動でアイスクリームや本格カレーなど食品の調理・加工を行うのが恒例となっており、今年は会員の牧場の生乳を使用したチーズづくりに挑戦しました。

花えーるの職員からアドバイスを受けながら作業をすすめ、開始から6時間後、約5%のチーズが完成。同時進行で焼き上げたカステラと一緒に試食し、本格的な味に大満足の様子でした。残りのチーズは真空パックにして各家庭に持ち帰り、家族に振る舞われました。

（石井 睦美）

きたみらいの
ホープさん



**農作業の効率化を
目指したい**

訓子府地区・北栄
小沢 ^{のぶひこ} 伸彦さん(24歳)

- 趣味は？
ツーリング、野球
- 好きな食べ物は？
パスタとラーメン。麺さえあれば生きていけます。
- 理想の女性像は？
自分の話をしっかり聴いてくれる方がいいです。
- 農業で学び実感したことは？
先輩や親に聞くことは大事だと思いますが、それを実行できるかどうかは別であると感じました。
- 今後の抱負は？
もっと農作業の効率化をしていきたいです。

伸彦さんは法人畑作経営の忠浩さん、博子さん夫妻の長男で就農して4年目になります。

(神田 貴章)

◆出身地とご自身の性格は？

置戸町出身で実家はもともと酪農をしていました。性格はおおざっぱで人見知り。自分から話しかけるのは苦手です。

◆ご主人との出会い、家族構成は？

親同士の繋がりで知り合い結婚しました。2男1女に恵まれ今年で結婚36年目です。孫が5人おり、みんな近くに住んでいるので割と頻りに会えています。孫の成長が楽しみです。

◆趣味は？

テレビでプロ野球を観ることが好きです。まだ生では1回しか観たことがないので、またいつか行きたいと思っています。

◆今後の抱負は？

現在、青年部とフレミズに続き女性部再編に向けて話し合いをしています。再編に向けて他の地区の方との交流を大切にして、早く顔と名前を覚えたいです(^ ^)

プリティ
Pretty Woman
ウーマン



交流を大切に

相内地区・本沢
北村 ^{ようこ} 陽子さん(59歳)

今回は平成28年度女性部相内支部の支部長北村さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

わが家のアイドル

お姉ちゃん大好きで甘えん坊

昨年9月に生まれもうすぐ1歳になる詩くんは、お姉ちゃんが大好きで甘えん坊。お姉ちゃんが保育園から帰ってくると後を追いかけて一緒に遊びたくてしかたありません。お気に入りのおもちゃはアンパンマンの押し車。よく自分で動かして遊んでいます。最近では本物の車も気になるようで、窓から外を見下ろして、国道を走る車やトラクターを見るのも好きです。

男の子では珍しい“詩”という名前は、ご両親の結婚指輪ブランド『俄 (NIWAKA)』の中のシリーズの名から選び、指輪に込められた言葉にある「ここにあるのは心にもっとも近いことば」という意味にあやかり、素直な子に育てて欲しいという想いが込められています。

児玉 詩くん(11ヶ月)

温根湯地区・昭栄

児玉 ^{うた} 詩くん(11ヶ月)

Qお付き合いのきっかけは？

7年前くらいに友達の紹介で知り合いました。

Q趣味は？

裕 一さん：子どもと一緒に遊ぶこと
みなみさん：旅行

Qこれからしたいことは？

長男が遊園地で遊ぶことが好きなので、二人目が生まれて落ち着いたら子ども達と一緒にディズニーランドに行きたいですね。

Qお互いの感謝の言葉

裕 一さん：いつも支えてくれてありがとう。
みなみさん：一生懸命働いてくれてありがとう。

写真は長男の陸駆君(3歳)と一緒に撮影しました。(高田 陽介)



ながよし夫婦

ディズニーランドに行きたい

上常呂地区・広郷
宮本 ^{ゆう いち} 裕一さん(29歳)
みなみさん(30歳)

INFORMATION

仲間との交流でリフレッシュ！ 女性部・フレッシュシユミズ視察研修

農作業が落ち着いた6月から7月にかけて、青年女性組織では活発に活動が行われました。そのなかでも好評だった、女性部・フレッシュシユミズ視察研修の概略をご報告します。
(石井睦美)

女性部 上常呂支部

初の支部単独で 府県視察

女性部上常呂支部（溝手範子支部長）は6月28日～30日に支部単独で初めての関東方面への視察研修を行い、部員14人が参加しました。1日目は神奈川県鎌倉市にある相



▲実際の売場を見学

女性部

温根湯支部・留辺蘆支部・相内支部

初めての三支部合同 視察で交流

西地域の女性部温根湯支部（下込絹恵支部長）・留辺蘆支部（茂住眞澄支部長）・相内支部（北村陽子支部長）は、7月7日～8日、初めて三支部合同での視察研修を行い、部員37人が参加しました。

1日目は余市町のニッカウヰスキー蒸溜所を見学。ウイスキーの製造工程やマッサンで話題になった竹鶴夫婦の歴史に触れ、最後には試飲を楽しみました。見学後は小樽運河を散策。海の匂いを感じながら各々お土産などを買い求めました。また夜の懇親会では、支部混合の



▲ウイスキーの蒸溜所について説明をうける部員のみなさん



▲産地みらいを使用した惣菜

鉄ローゼン鎌倉深沢店を訪問。きたみらい産馬鈴しょ・玉ねぎを使用した惣菜の試食と店内の見学をしました。馬鈴しょはコロッケ、ポテトサラダ、肉じゃがに使用されており、それぞれ製造過程やこだわりをもつて素材を活かした加工に取り組みしており、味の違いも実感できました。玉ねぎは当JAフレッシュシユミズが平成26年に訪問した際にきたみらい産玉ねぎを使用した惣菜の開発を提案。この意見をもとに2種類のかき揚げが開発され、販売されています。どちらも脂っこさをおさえ、玉ねぎの甘みが活かされた味となっています。視察後は6月の鎌倉というところで、「あじさい寺」との別名でも有名な

女性部

北見支部・端野支部

野球の応援が “交流” に一役

座席で、テーブルごとに楽しみ、支部を越えた交流が図られました。2日目は旭川のイオンにて昼食をとり、上川町の大雪森のガーデンハウスのように見える丘「ドレスガーデンカンテ」や四季折々の花々が咲く「森の花園」など見学。すっきり晴れていたこともあり、遠くには大雪山も望め、良いリフレッシュとなりました。

女性部北見支部（米森啓子支部長）と端野支部（中智子支部長）は7月9日～10日、一泊二日で、札幌・富良野方面を訪れ、部員22人が参加しました。1日目は、劇団四季「ウィキッド」鑑賞とプロ野球「ファイターズ対マリンス」観戦のグループに分かれてそれぞれ楽しみました。また、懇親会では、全員で部員間の交流を図りました。

2日目は、観光の人気スポット「ファーム富田」で見頃のラベンダー畑を見学。次に地元の農産加工品や新鮮野菜の直売所とレストランも揃えた「ラノマルシェ」で昼食をとりました。



▲丸中青果を見学

明月院へ。院内には明月ブルーと言われる青い紫陽花が咲き乱れ、北海道とはまた違う紫陽花の良さを感じられました。

2日目は横浜丸中青果を訪問し市場見学と玉ねぎと馬鈴しょの情勢について伺いました。他県の玉ねぎや馬鈴しょの箱を開け、現品をみせてもらい、収穫前にモチベーションが上がら、今後の営農への糧となったのではないのでしょうか。その後、東京都内へと向かい、きたみらい産馬鈴しょを丸々1個添えたハンブルグステーキが人気のつばめグリルで昼食。美味しいお肉と共に存在感のある馬鈴しょは、より一層おいしく感じられました。

つばめグリルで1番人気のハンブルグステーキ



▲選手に声援を送る部員のみなさん

帰りのバスではテレビとラジオの中継を交互に、再びファイターズ対マリンス戦を応援。1点のピッチで迎えた9回裏も2アウト、ランナーなし。万幸休すと思われましたが、みんなの願いが届いたのか、起死回生の同点ホームランが飛び出し、車中は歓喜につつまれ、一体感が最高潮に。しかし、勝負がつかないまま北見に到着。その後、試合は今シーズン最長の5時間10分に及び、接戦を制したファイターズは破竹の15連勝を飾りました。

女性部 訓子府支部

名産品の魅力を知る

女性部訓子府支部（北野はるみ支部長）は7月14～15日の一泊二日で



▲編集部で紙面構成について説明を受ける部員



▲家の光協会の方に作って頂いたサンプル表紙

この日2カ所目の視察先（社）家の光協会では、創設当初からの想いや、紙面の活用方法、編集部デスクを見学。なかなか見ることができない、家の光が出来るまでを知ることができました。

最終日は東京都内を観光。東京の名所を巡り、近代的な部分や昔からの名残など、様々な顔を見せる東京を見物することができました。

支部視察研修を行い、47人の部員が参加しました。大型バス2台で訓子府地区事務所を出発し、まず昼食を兼ねて小樽運河周辺を散策しました。その後、1日目の研修先である余市町のニッカウヰスキー蒸溜所を訪れ、ウイスキーの製造工程や歴史について学びました。研修2日目、ホテルを出発した後、かまぼこ工場「かま栄」へ。製造工程をガラス越しに見学することができ、手際よく形作られる様子に部員のみなさんも目が釘付けとなりました。名物パンロールやできたてのかまぼこを味わい、小樽を出発。天候にも恵まれ、名産品のおいしさを感じながら視察研修となりました。



▲ニッカウヰスキー蒸溜所にて記念撮影

(次頁に続く)

INFORMATION

夏期地区別懇談会終える 活発な意見や質問が112件

地区毎の出席状況					
懇談会日	地区	組合員戸数	出席戸数	出席者	出席率
7月11日	端野	200	82	83	41.0%
7月11日	北見	189	47	51	24.9%
7月12日	留辺蘂	35	17	25	48.6%
7月12日	温根湯	73	27	33	37.0%
7月13日	置戸	109	31	37	28.4%
7月13日	訓子府	295	71	76	24.1%
7月14日	相内	87	38	52	43.7%
7月14日	上常呂	114	19	19	16.7%
合計		1102	332	376	30.1%

7月11日から14日までの4日間、8会場にてJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族のみならずなど332戸376人が出席しました。

JAからは常勤役員と西・南・東地域ごとに役員が出席し、地域運営委員長の司会により進行了しました。

3時間という限られた時間のなか、8会場において以下の内容について説明後、多くの組合員のみならずから延べ112件の活発な意見や質問が出されました。



なお、懇談会で出された質問・意見・要望などについては、その場にて考え方などの回答をしましたが、検討を要する事項については、8月開催の定例理事会で協議の後、「Q&A」にてお知らせ致します。

- 営農指導事業から
 - ・ 地域運営委員会要領の見直し(案)について
 - ・ コントラクター事業アンケート結果報告について
- 販売事業から
 - ・ 各農畜産物の情勢 他
- 購買事業から
 - ・ 生産資材情勢
- 総務企画部門から
 - ・ 地区事務所のあり方について
 - ・ 営農指導事業のあり方について

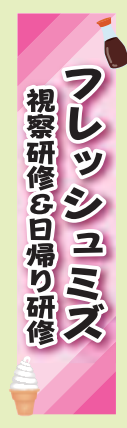


▲25人が出席して開かれた、留辺蘂地区での懇談会



▲中央会での視察の様子

フレッシュユミズ(米森絵里香会長)は7月5〜6日、一泊二日の視察研修を行い、37人の会員が参加しました。1日目は札幌市内のJA北海道中央会を訪問。全道のフレッシュ活動などについて学びました。懇親会では支部混合の座席で役員が企画したゲームを行い、交流を深めました。2日目はキッコーマン北海道の醤油工場を見学。普段見ることができない工場の内部に驚きの声があがっていました。



▲日帰り研修に参加した会員のみなさん

さらに、一泊研修とは別に今年度初めて日帰り研修を企画。7月6日に行われた研修には25人の会員が参加しました。午前中は小清水町内のホタテ入りせんべい「ほがじゃ」の加工工場を見学。昼食後は東藻琴乳酪館にてバターづくりを行いました。会員の子どもも7人参加し、和気あいあいと交流を深めました。会員からも「小さい子どもがいるので一泊の研修だと参加が難しいが、日帰りの研修に参加でき、気分転換になった」「研修をしながら、初めて話す会員とも会話が弾んだ」などの声が聞かれました。

中古車を探している そろそろ車を入れ替えたい とりあえず見積りだけ まずは **JA** にご相談ください!

新車が欲しい 買うなら今!!

お問合わせ先 **JAきたみらい 燃料自動車グループ**
常呂郡訓子府町駒里44番地2 (☎0157-47-2099)

夏の新車フェア
3メーカー「全車種対象」特別企画
2016年9月30日(金)契約分まで
TOYOTA SUZUKI SUBARU の新車を最大5%OFF

軽トラック新車ご購入で
スタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)プレゼント!

いずれか1つをプレゼント!

JA車輛整備工場より車検キャンペーンのお知らせ

8月1日~10月31日までの期間中に、**車検予約・入庫(軽自動車・普通乗用車)で、次回エンジンオイルまたはタイヤ交換をサービス!!**

「オイル交換・タイヤ交換無料引換券」を進呈します。

※車検は「車検満了日」の1ヶ月前から受けられます
※引換券は車輛整備工場及び、中ノ島給油所を除くきたみらい各給油所で使用できます
※引換券の使用は軽自動車及び普通乗用車限定となります
※但し、オイルは5Lを上限とさせていただきます
※オイル・エレメントは当JA指定のものとなります
※タイヤ交換は特殊サイズ・扁平率等によっては作業をお断りすることもございますので、ご了承ください

必要書類 ・車検証 ・納税証明書
・自賠責保険証 ・認印(シャチハタ不可)

お問合わせ先 **JAきたみらい 車輛整備工場**
常呂郡訓子府町大町103番地 (☎0157-47-4820)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



7月号まちがいさがしの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「2、4、6、9、11」でした。正解者41名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。 ()内は地区名

- ・三上 進さま (温根湯)・春木 君枝さま (留辺蘂)
- ・森谷 蓮華さま (相内)・結城 有一さま (置戸)
- ・浅川 友子さま (訓子府)・佐々木紀香さま (訓子府)
- ・菅波 日和さま (訓子府)・草場久美子さま (上常呂)
- ・戸田登美子さま (北見)・宮下 琉夏さま (端野)

以上の方々には、JAきたみらいの「焼肉のたれ」「玉葱塩だれ」「麦まるごとうどん 平打ち」をセットにしてプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募ください。抽選で10名の方に、JAきたみらいの「オニオンコンソメ」「麦まるごとうどん 平打ち」「玉葱醤油」をセットにしてプレゼント致します。

ほ んち祭で演奏会に参加しました。沢山練習した甲斐があって、とても良い出来でした。

(温根湯地区 岩橋 美咲さん)

演奏会お疲れ様でした。地域の行事に参加して盛り上げることはとても良いことですね！

も うすく夏休みです！夏休み中、キャンプがあるので楽しみです。

(訓子府地区 濱野 慎悟さん)

暑い夏にキャンプ、最高ですね。熱中症に気を付けて思いきり楽しんでください！

根 切りも始まり、いよいよ収穫の始まりです。

お天気が続くと良いですね。

(留辺蘂地区 坂下 創思さん)

今年もこの時期がやってきましたね。ケガにはくれぐれも気をつけてがんばりましょう！

い つも今月の表紙を飾るのはどちらの家族かな？と楽しみにしています。素敵な笑顔に元気をもらってますよ。

(訓子府地区 斉藤 晴美さん)

いつもご愛読ありがとうございます。本誌を通じて皆さんに元気を届けることが出来れば嬉しい限りです。

VOICE 読者の声

INFORMATION

第6回 理事会報告

7月28日、午前9時より第6回定例理事会が開催され、報告事項14件、決議事項2件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①平成28年度監事会視察研修報告について
- ②内部監査（個人情報保護・情報セキュリティ対策）報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤固定資産の処分について
- ⑥平成28年度夏期地区別懇談会意見集約について
- ⑦作況調査（7月15日）について
- ⑧平成28年度作付実態調査の集約について
- ⑨乳牛共進会について
- ⑩重要病害虫の対策経過について
- ⑪H27年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの本精算について
- ⑫JAコンテナの払い下げについて
- ⑬端野SSセルフキャンペーン実績報告について
- ⑭人事の発令について

【決議事項】

- ①玉葱集出荷施設敷地造成工事に係わる施行方法及び発注方法について
- ②H28年度生乳生産の取り進めについて

オホーツク管内猟友会 担い手発掘安全射撃講習会

(一社)北海道猟友会北見支部は7月24日、北見国際クレー射撃場にて平成28年度オホーツク管内猟友会担い手発掘安全射撃講習会(競技会)を開催しました。同講習会はJAきたみらいを含む20団体が協賛。4クラスにおいて、シングル、ダブル(一度に飛ばされる皿の数による)の部が行われ、53人が腕を競いました。

当日は射撃の大会形式による見学のほか、エソシカカレーの無料試食会、射撃シュミレーターが無料体験でき、多数の市民が来場しました。



▲飛ばされる的を射る参加者のみなさん

認知症でも安心して暮らせる地域へ ~RUN伴訓子府開催~

7月2日、訓子府町で初めてRUN伴(らんとも)が行われました。RUN伴とは、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症の人や地域の人でたすきをつなぎ日本を縦断するプロジェクトです。

北見市からスタートしたたすきは訓子府町静寿園にてRUN伴訓子府に受け渡され、訓子府町公民館までの700mを5人の認知症走者で繋ぎました。伴走する家族の方々以外にも沿道には地域住民が応援にかけつけ、ゴールまでの道のりを見守りました。車いすから立ち上がり、自ら歩いてゴールを目指す走者もあり、その姿に「元気をもらった」と話す地域住民の声も聞かれました。その後、たすきは車移動をはさんで足寄町に届けられ、11月の沖縄到着を目指し、現在もたすきが繋がれています。

【RUN伴について (<http://runtomo.jimdo.com/>)】



▲RUN伴走者と応援の地域のみなさん

JAグループ北海道から スマホアプリ配信!

JAグループ北海道から食と農につながるスマホアプリの無料配信が始まりました。その名も「JA²MP」(ジェイエイ・ジャンプ)です。

季節の農業イベントや、全道各地に多数あるJAグループ北海道の関連施設でチェックインポイントを集めて、豪華景品が当たるプレゼント抽選会に応募できます。その他にもオススメ農畜産物情報などが更新されていく予定ですので、興味のある方はぜひご登録ください。



※お使いの端末のOSのバージョン、機種によっては正しく表示されない場合があります。



スパニッシュオムレツ

【エネルギー約267kcal(1食当たり)】

【作り方】

- ①ジャガイモは薄切り。ニンニクは縦2等分。タマネギ・ピーマン・イタリアンパセリは2cmくらい、ミニトマトは4等分する。
- ②フライパンにE.Vオリーブ油小さじ2とニンニクを入れ、弱火でニンニクの香りが出たら取り出す。ジャガイモとタマネギを炒め合わせ、水大さじ3(分量外)・塩少々・こしょうを加え、ふたをして3~5分、ジャガイモが軟らかくなるまで蒸し煮にする。
- ③ポウルに卵を溶き、残りの塩・こしょうで味付け、②と他の野菜を加える。
- ④小さめのフライパンに残りのE.Vオリーブ油を熱し③を入れて大きくかき混ぜる。半熟になったらふたをして弱火で6~8分、ひっくり返して2~3分焼く。

メモ

ジャガイモなどの野菜がたっぷり入った、みんなが大好きなふわふわオムレツです。小さめのフライパンを使うと、厚みが出てふっくらと焼けます。ひっくり返すときは大皿をふたのようにし、一度取り出すと上手に返せます。

【材料：3人分】(18cmのフライパン)

- 卵4個
- ジャガイモ2個
- タマネギ1/2個
- ピーマン1個
- ミニトマト4個
- イタリアンパセリ2本
- ニンニク1片
- E.Vオリーブ油大さじ2
- 塩小さじ1/2
- こしょう適量



アジの塩焼きポン酢浸し

【エネルギー約105kcal(1食当たり)】

【作り方】

- ①アジは尾から頭に向かって包丁の背でうろこを取り、ゼイゴを尾の側からそぎ取る。えらも包丁の先で取る。盛り付け時に裏側となる腹を4cmほど切り、はらわたを取り出してよく洗い、水気を拭き取る。火が通りやすいように、身の厚い部分に切れ込みを入れる。
- ②アジの全体に振り塩をし、冷蔵庫で15~30分ほど置き、出た水分を拭き取り、化粧塩少々を振る。尾とひれにはたっぷり塩をまぶす。
- ③ショウガ・ミョウガ・大葉は千切りにする。
- ④グリルで裏側となる面を中火で6~7分、ひっくり返して表側になる面を3~4分焼く。
- ⑤皿に焼いたアジを入れ、ポン酢と③をたっぷり掛ける。

メモ

焼きたてはもちろん、冷ましてポン酢がしみ込んでからもおいしい焼き魚料理です。うろこや内臓の処理が難しければ、お魚屋さんにお願ひしましょう。振り塩をしてから休ませると、さらにおいしくなります。目が白くなり、切れ込みが開いてきたら焼けてきたサイン。魚の頭が左側を向くように盛り付けましょう。

【材料：2人分】

- アジ2尾
- ショウガ少々
- ミョウガ1本
- 大葉4枚
- ポン酢適量
- 塩適量

編集後記

- ・夏らしい暑さが続くなか、小麦収穫が始まり「季節の薫り」で紹介しています。
- ・「特集」ではお祭りを取り上げています。これからはお祭りシーズンとなりますので、家族や大切な人と夏の夜空を彩る花火を見に行っはいかがでしょうか。
- ・8月になりましたが、気温の高い日が続いています。収穫作業でお忙しい日々とは思いますが、体調管理に気を付けてください。(梅澤 大)

JAきたみらい概要

(平成28年7月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,749人
- ・組合員数(准) 6,070人
- ・組合員戸数(正) 1,101戸
- ・貯金 102,691百万円
- ・貸出金 18,972百万円
- ・出資金 5,012百万円